

原料用甘しょの生産安定と優良品種の普及を図り、契約栽培によるでん粉工場の経営安定と農家の所得向上に努める。

2. 生産指標（10アール，生産量，4 t）

(1)優良品種の普及（シロユタカ，シロサツマ，コガネセンガン等）

(2)健苗育成（ハウス育苗，共同育苗）

(3)適期植付（早植粗植）

(4)マルチ栽培の導入（早植え増収）

(5)地力増進（深耕，堆肥増施）

(6)施肥の合理化（三要素の適正）

(7)病虫害の防除（早期防除）

3. 工場への計画出荷

(1)適期収穫

(2)工場の計画操業，集荷計画の徹底

(3)新鮮な甘諸出荷（掘取直後搬入）

4. でん粉工場

(1)良質でん粉生産

(2)コストの低減

(3)歩留り向上対策

5. 農家の所得目標

10アール，100俵，10万円以上。

原料用甘しょの安定生産により，でん粉工場の経営安定をすすめ，より良質のでん粉生産と，コスト低減に努め，きびしく迫られている，自由化をあくまで阻止し，南九州の基幹作物である甘しょを守ると共に，国内産甘しょでん粉の生き残りにかけてゆきたいと努力している。

いも・つれづれ草

●ジャガイモから生まれたファッション

19世紀半ば，クリミア戦争が始まった。ナヒーモフ提督の指揮するロシア黒海艦隊に負けたトルコ艦隊を支援するため，フランス，イギリスなどの約6万の大軍が1854年9月クリミアに上陸し，長期戦が開始された。この寒い時期の戦いで，ジャガイモを入れて運んだ麻袋と戦傷者が多数でたのは当然の話。

そこで，イギリスの指令官ラグラン伯爵は，ジャガイモ袋の2隅を切り落とし，傷病兵が楽に着れる服をつくらせた。まさに一石二鳥の解決策である。これが，ゆったりした着やすいラグラン袖誕生の話である。

●うどんの花色は？

そば畑の花を遠くから眺めると，ジャガイモのそれによく似て，じゅうたんを敷いているように見える。

しかし，見る時刻では差があり，ジャガイモは午前がよく，蜂などの来訪を待つそばでは，それほど店じまいが早くない。

ある大臣が旅行中に，夕闇のなかに，雪でも降ったように咲き揃ったそば畑を見て，『あれは何の花か』と質問した。お側から，『そばの花です』と返事したところ，『なるほど，そばの花は白いのか。美しいものだろう』と感心し，続けて，『では，うどんの花はどんな色をしているのか』と尋ねた。

そばの花の色は普通は白で，開花までの気温などにより，淡紅色を呈するにとどまっている。しかし，ジャガイモでは，白の外，薄赤紫，紫，青などの外，南米ペルーには，ソラム・ペンネリーという黄色の花をつける野生種もある。

●ポテト・ジョーク

3人の子供が放課後教員室から出てきたので聞いてみた。

「君は何で先生に叱られたのだ」

A「畑でジャガイモを蹴飛ばしたんだ」

B「僕はジャガイモを踏んだんだ」

「そんなことで，こんな遅くまで叱られていたのかい，そして君は」

C「僕がそのジャガイモなんです」（浅間和夫）